

令和二年秋田県議会第二回定例会会議録

第六号

議事日程第六号

令和二年十月十六日（金曜日）

午前十一時開議

第一、知事の説明

第二、決算特別委員会設置の件

本日の会議に付した事件

日程第一から日程第二まで議事日程に同じ

追加、決算特別委員会への議案付託の件

午前十一時開議

本日の出席議員

一 番	小 野 一 彦	二 番	松 田 豊 臣
三 番	鳥 井 修 彦	四 番	宇 佐 見 康 人
五 番	住 谷 達 郎	六 番	児 玉 政 明
七 番	小 山 緑 郎	八 番	鈴 木 真 実
九 番	薄 井 司	十 番	加 賀 屋 千 鶴 子
十一 番	吉 方 清 彦	十二 番	佐 々 木 雄 太
十三 番	杉 本 俊 比 古	十四 番	鈴 木 健 太
十五 番	佐 藤 信 喜	十六 番	今 川 雄 策
十七 番	鈴 木 雄 大	十八 番	加 藤 麻 里
十九 番	佐 藤 正 一 郎	二十 番	三 浦 茂 人
二十一 番	小 原 正 晃	二十二 番	沼 谷 純
二十三 番	高 橋 武 浩	二十四 番	佐 藤 雄 孝

地方自治法第二百一十一条による出席者

二十五番	北 林 丈 正	二十六番	竹 下 博 英
二十七番	石 川 ひ と み	二十八番	東 海 林 洋
二十九番	渡 部 英 治	三十一番	工 藤 嘉 範
三十二番	近 藤 健 一 郎	三十三番	加 藤 鉦 一
三十四番	佐 藤 賢 一 郎	三十六番	石 田 寛
三十七番	三 浦 英 一	三十八番	土 谷 勝 悦
三十九番	柴 田 正 敏	四十番	川 口 一
四十一番	鶴 田 有 司	四十二番	鈴 木 洋 一
四十三番	北 林 康 司		
三十番	原 幸 子	三十五番	小 松 隆 明
	本日の欠席議員	二 名	
	知 事	佐 竹 敬 久	
	副 知 事	堀 井 啓 一	
	副 知 事	川 原 誠	
	総 務 部 長	神 部 秀 行	
	総務部危機管理監(兼) 広報 監	渡 辺 雅 人	
	企画振興部長	出 口 廣 晴	
	あきた未来創造部長	高 橋 修	
	観光文化スポーツ部長	嘉 藤 正 和	
	健康福祉部長	佐 々 木 薫	

生活環境部長 鎌田雅人

農林水産部長 佐藤幸盛

産業労働部長 猿田和三

建設部長 小林賢太郎

会計管理者（兼）
出納局長 柳田高人

総務部次長 松本欣也

財政課長 神谷美来

教育委員会教育長 安田浩幸

警察本部長 久田誠

●議長（加藤鉦一議員） これより本日の会議を開きます。

諸般の報告は、お手元に配付してあります議長報告のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

議長 報告 （朗読省略）

一、十月十六日、知事から次の議案等が提出された。

- (1) 認定第二号 令和元年度秋田県歳入歳出決算の認定について
- (2) 報告第六三号 令和元年度秋田県一般会計の継続費の精算報告
- (3) 報告第六四号 令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- (4) 報告第六五号 交通事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告
- (5) 報告第六六号 道路事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告
- (6) 報告第六七号 道路事故に係る和解及び損害賠償の専決処分報告

一、十月九日、監査委員から、令和元年度の財務に関する事務の執行状況について監査結果の報告があり、同日、各議員に配付した。

監査報告書 登載省略

●議長（加藤鉦一議員） 日程第一、知事の説明を行います。知事の発言を許します。

【知事（佐竹敬久君）登壇】

●知事（佐竹敬久君） おはようございます。

このたび提案いたしました議案の説明に先立ち、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、国政を巡る状況についてであります。

先月十六日に発足した菅内閣においては、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図りながら、デジタル化の加速など集中的な改革と必要な投資を行うとともに、地方の活性化、人口減少、少子高齢化をはじめとする様々な課題を克服していくため、既得権益にとらわれず規制改革を進め、日本の活力につなげていくとの方針が示されております。

我が国の持続的な成長の実現に向けては、感染症の拡大防止策と社会経済情勢や世界的な産業構造の変化を捉えた経済政策に加え、実効性のある人口減少対策や地域格差のない医療・福祉体制の充実、防災・減災対策など、基礎的な重要課題への対応を着実に進めるとともに、感染拡大を契機に東京一極集中の流れに変化が現れてきていることを踏まえ、デジタル化を推し進めながら、地方への人材の還流や産業再配置の加速化を図るなど、地方創生の深化につながる施策を国として力強く展開していただきたいと考えております。

県としては、コロナ禍にあつて、持続的かつ安定的な財政運営に必要な財源の措置と併せ、医療機関や社会福祉施設等の経営安定化に向けた

支援の充実など、地域の実情を踏まえた対策に必要な予算が確保されるよう、様々な機会を捉え、国に対して強く訴えるとともに、地方への移住・関係人口の増加につながるリモートワーク、ワーケーションを活用した施策をはじめ、デジタル・トランスフォーメーションの推進や本県の強みを生かした産業振興など、「ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョン」に取り入れた視点も踏まえ、ふるさと秋田の元氣創造に向けた取組を一層進めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応について申し上げます。

県内では、先月から今月にかけて散発的に感染が発生し、高齢者施設の職員のほか児童生徒の感染も確認されましたが、施設や学校などにおいて感染防止の取組が徹底されていたことから、クラスターの発生には至らなかったところであります。これまで、新聞での全面広告やテレビ、SNSなど様々な手法により、感染防止策の実践等について周知を行ってきたとおり、幅広く県民の皆様から御協力をいただいたことが、こうした感染の抑え込みにつながっているものと受け止めております。

今後、インフルエンザとの同時流行が懸念される時期を迎えることから、地域のかかりつけ医等の身近な医療機関においても検査が行えるよう、現在、協力をいただける医療機関の指定に向け、県医師会及び郡市医師会と協議を進めており、発熱患者等の増加を見据えた体制の整備に万全を期してまいります。

また、新型コロナウイルス感染者への偏見や差別的な言動などが全国的に問題となつている中、本県においてもこのような事例がSNS等で確認されていることを踏まえ、こうした行為を防ぎ、正しい情報に基づく冷静な行動をとっていただくよう、県内の関係団体と共同で県民に広く呼びかけを行うなど、感染症に伴う誹謗中傷等の防止に向け取組を強化してまいります。

次に、感染拡大地域との往来について申し上げます。

全国的な感染の動向などを踏まえ、今月から、首都圏等との往来の自

粛要請を解除したところではありますが、Go To トラベル事業の対象に東京都発着の旅行が追加されたことに伴う県外との往来の増加に備え、宿泊施設をはじめとして、業種別ガイドラインに沿った感染対策の徹底を呼びかけるとともに、柔軟かつ迅速なPCR等検査の実施により、感染拡大の未然防止を図っていくことにしており、県民の皆様にも、旅先での混雑の回避など感染の防止に努めていただくようお願いします。

今後は、新型コロナウイルス感染症に十分配慮することを前提に、県内経済の回復に向けた取組を進めていく必要があると考えており、プレミアム宿泊券の追加発行によって冬季の観光需要を喚起するとともに、旅行予約サイトを利用した県外からの宿泊客に対する県産品交換クーポンの配付や、冬季の旅行商品造成への支援の強化など、東北域内や全国からの誘客促進策を幅広く展開しながら、観光関連消費の拡大につなげてまいります。

次に、認定をお願いいたします令和元年度秋田県歳入歳出決算について申し上げます。

一般会計歳入総額は五千九百七十四億三千八百六万円、歳出総額は五千八百八十五億六百四十一万円となり、事業繰越財源を差し引いた実質収支は、七十三億一千三百四十万円の黒字となりました。

令和元年度は、人口減少社会の克服に向けて、次代を担う若者の夢の実現に向けた取組への支援をはじめ、首都圏からの移住促進、インバウンド誘客のための集中的なプロモーション、外国人材の受入体制の整備、各産業分野におけるICT・AI等の導入を強力に推進したほか、「第三期ふるさと秋田元氣創造プラン」に基づく施策等の推進の加速化を図るとともに、豪雨災害からの復旧や防災・減災対策、新型コロナウイルス感染症への対応に取り組んだところであります。

よろしく御審議の上、認定いただきますようお願い申し上げます。

●議長（加藤鉦一議員） 次に、日程第二、決算特別委員会設置の件を議題といたします。

お諮りします。お手元に配付してありますとおり、令和元年度秋田県歳入歳出決算の認定に関する議案の審査を行うため、委員十一人で構成する決算特別委員会を設置することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（加藤鉦一議員） 御異議ないものと認めます。決算特別委員会は設置されました。

次に、決算特別委員会の委員の選任についてお諮りします。同委員会の委員には、住谷達議員、鈴木真実議員、佐々木雄太議員、杉本俊比古議員、今川雄策議員、原幸子議員、竹下博英議員、鳥井修議員、吉方清彦議員、加藤麻里議員、小野一彦議員、以上のとおり選任することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（加藤鉦一議員） 御異議ないものと認めます。決算特別委員会の委員は、ただいまお諮りしましたとおり選任されました。

次に、決算特別委員長及び同副委員長の選任についてお諮りします。同委員会の委員長及び副委員長の選任については、議長の指名に一任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（加藤鉦一議員） 御異議ないものと認めます。

指名いたします。決算特別委員長には、竹下博英議員、同副委員長には、鳥井修議員を指名いたします。

決算特別委員長及び同副委員長は、ただいま指名のとおり選任されました。

お諮りします。決算特別委員会への議案付託の件を本日の議事日程に追加し、直ちに議題とすることに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（加藤鉦一議員） 日程は、追加されました。決算特別委員会への議案付託の件を議題といたします。

お諮りします。認定第二号は、決算特別委員会に付託することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（加藤鉦一議員） 御異議ないものと認めます。認定第二号は、決算特別委員会に付託されました。

以上で、本日の日程は、全部終了しました。

本日は、これをもって散会いたします。

午前十一時十一分散会